

平成18年上島町議会第2回定例会が6月23日に招集され、「上島町障害者自立支援審査会の委員の定数を定める条例」など16議案が審議され、可決されました。

この日の本会議では、はじめに上村町長から諸般の行政報告があり、一般質問の後、16議案の審議が行われました。

なお、上村町長の諸般の行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

## 上村町長 諸般の行政報告

ドイツからのサッカーワールドカップの放映に、寝不足気味の方もいらっしゃるかと思いますが、梅雨入りしたとはいえ新緑鮮やかに清々しい風を感じる時候になってまいりました。

本日は、平成18年上島町第2回定例会を招集いただきましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございます。

3月定例会行政報告以降の行政運営事項として、議会の議決をいた

だいた「上島町産業振興計画」の一つである、造船業界のインフラ整備による公有水面（海面）埋立ては、愛媛県からの免許を3月13日付で取得し、現在計画工程表に沿って工事が進められております。

今回の拡張工事により160名の雇用が見込まれており、全体計画では直接就業人員だけでも500名以上の新たな雇用の場が確保されることとなっております。今後とも造船業・水産業・農業・商工業振興を核に、町民皆様のご理解をいただきながら、計画的な産業振興に努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

上島町の行財政改革においては、「上島町集中改革プラン」の策定と3月22日に上島町行政改革推進委員会から「上島町行政改革大綱」の答申を受け、その実施に向けて各担当課や関係機関において具体的な協議を進めております。その答申内容については現在公開公表しておりますが、特に事務事業面では事務事業評価システムの推進、業務全般においては民間委託の活用を行うこととし、職員の見直し管理について国は5%を目標としておりますが、上島町は平成22年度当初には7%削減と設定しております。

給与の適正化においては本年4月から人事院勧告に伴う条例改正による新給料表の運用、さらに出張時における日当の減額等により経費の削

減を既に行っており、第三セクターにおいても根本的な見直しを含め、上島町の方針に沿った運営計画変更の必要性があります。

上島町中期財政計画では、今後10年間の予算を編成するには基金の取り崩しを避けることができず、将来の経済動向や財政状況を考慮すると、大型事業の見直し・凍結・廃止等を検討する必要がある、行財政運営全般において経費削減による財政効果を極めなければならぬと考えております。

上島架橋につきましては、加戸愛媛県知事をはじめとする来賓多数の御出席を賜り、3月23日、生名橋の起工式が執り行われました。生名橋の完成予定は平成21年度末であり、それに続く岩城橋は愛媛県の財政状況により、当初の計画である平成21年度着工から平成22年度以降に変更になるとの知事挨拶ではありましたが、生名橋と岩城橋はセットの橋として位置づけられており、今後とも日本経済の好転に期待を寄せながら「上島架橋促進協議会」を中心に、1日でも早い上島架橋完成に向けて全力を尽くしてまいります。

起工式後の知事と弓削高校生徒との意見交換会は、大変貴重で有意義な時間となり、このような機会を作っていたいただいた加戸知事をはじめ関係者の皆様に、この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。

生活に密着し「安心・安全」の要

となる防災計画は、この4月から消防本部に事務事業を集中させ、防災ブックの作成・配布等により自主防災の重要性をお知らせいたしました。が、今後は実際の災害を想定した避難訓練を含め、地域の皆様と共に自主防災訓練を実施しなければならぬと考えております。

合併協議会の事務事業一元化につきましては、関係各方面のご協力により4月以降、地区長制度の新設や改正あるいはゴミ収集制度の変更、上島町商工会・上島町連合婦人会・上島町文化協会・上島町体育協会・上島町遺族会等々、各種団体の新組織設立など、組織の強化と町民の交流・融和に向けた自主的な動きに大変感謝をいたしております。

4月18日には、上島町が策定した「構造改革特別区域計画および地域再生計画」の内示を受け、首相官邸において認定書を受領いたしました。この計画は生名立石港周辺を中心とした上島町活性化計画であり、生名地域のみならず上島町全域に広がる施策として位置づけられております。内容につきましては、その都度、議会等で経過報告をしておりますが、今後関係地域住民説明会などを開催することで広くお知らせいたします。

「光だ 光だ という人には つか光が射してくるし 闇だ 闇だ という人には いつまでも闇が続く」という詩を目にしました。

新たに作成された、上島町町勢要

覧「上島就航」に「様々な船が行き交う瀬戸内海の真ん中に「上島町」という新船が誕生しました。この船はここに住む私達をのせ、世界に誇れるふるさとを目指して、力強く進んでゆく」とあるように、今私達は「町民の和」と「島人の宝」を結集することで、荒波を乗り越え、理想とする「光輝く上島町」をつくりあげることができると考えています。私も微力ながら光を目指して全力を尽くしてまいりますので、今後とも町民の皆様のご理解とご指導と共に、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 各議案の主な内容及び議決結果

### 条例議案

■上島町障害者自立支援審査会の委員の定数を定める条例  
障害者自立支援法の施行により、

上島町障害者自立支援審査会の委員の定数について、関係条例を整備したものの。

— 原案可決 —

■上島町開発総合センター条例の一部を改正する条例

使用料を統一し開発総合センターの利用促進と地域住民の利便を図ることに伴い、関係規定を整備したものの。

— 原案可決 —

■上島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

職員の休憩時間、休息時間について国の改正に準じて見直したものの。

— 原案可決 —

■上島町在宅寝たきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例

在宅寝たきり老人等介護手当の適性かつ公平な支給を図るため、関係規定を整備したものの。

— 原案可決 —

■上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行規則等の一部改正に伴い、国民健康保険事業の適正な運営を図るため、関係規定を整備したものの。

— 原案可決 —

### 補正予算議案

■平成18年度上島町一般会計補正予算及び特別会計（8会計）補正予算（全9議案）

●一般会計  
【補正額】 2億5600万円  
【総額】 66億6700万円

●特別会計（8議案…8会計）  
次表のとおり

国民健康保険	補正額	170万円
	総額	10億7770万円
老人保健	補正額	750万円
	総額	14億8550万円
共道 下水	補正額	▲1470万円
	総額	7億3730万円
CATV	補正額	320万円
	総額	7050万円

農業集落排水	補正額	▲400万円
	総額	8120万円
介護サービス	補正額	▲330万円
	総額	7450万円
船舶	補正額	460万円
	総額	2億2530万円
特別養護老人ホーム	補正額	350万円
	総額	2億2550万円

— 原案可決 —

### その他議案

■17年災国補第3号篠塚漁港東防波堤災害復旧工事 平成17年度篠塚漁港地域水産物供給基盤整備工事請負契約の一部変更について

平成18年3月27日、議会の議決を得て契約を締結した17年災国補第3号篠塚漁港東防波堤災害復旧工事平成17年度篠塚漁港地域水産物供給基盤整備工事の請負契約について、工事の施工上、設計の一部を変更して実施する必要が生じたもの。

【契約金額】

変更前 170100千円  
変更後 182251千円

— 可決 —

■奥里地区污水枝線築造工事請負契約の一部変更について

平成17年12月20日、議会の議決を得て契約を締結していた奥里地区污水枝線築造工事の請負契約について、工事の施工上、設計の一部を変更して実施する必要が生じたもの。

【契約金額】

変更前 75075千円  
変更後 73229千円

— 可決 —